

祝 平田しおり選手

アジア射撃選手権大会で銅メダル獲得

カタールドーハで行われた、第14回アジア射撃選手権大会 女子ライフル3姿勢(※)で平田しおり選手(明治大学、大成町出身)が、見事銅メダルを獲得しました。

3人出場した日本代表選手のうち、平田選手は予選でトップと9点差の116.9点をマークして7位に入り、唯一の予選突破を果たし、決勝では3位となりました。

11月13日、市役所本庁舎に懸垂幕を設置しました。掲揚は井出市長が



平田しおり選手



競技中の平田選手(左)

お祝いの言葉とともに、平田選手の父展也さんをはじめ、石川県ライフル射撃協会や大成町、能美市体育協会、能美市クレー射撃協会の代表者が快挙を祝福しました。展也さんは「指導していただいた方との巡り合わせが良かった。朝から晩までずっとライフルを握って練習しているの、それが報われたのかな」と目を細めました。

平田さんはクレー射撃で国体出場経験のある父親の影響で、中学生から

射撃をすることに興味を持ち始めました。当初は父と同じクレー射撃を希望していましたが、クレー射撃は20歳からという年齢制限があったため、16歳から許可が下りるエアライフルを高校1年生から習い始め、ライフルが好きになったといいます。展也さんは平田選手について「集中力の切り替えがすごい。まだまだ成長できる」と話し、さらなる躍進に期待を込めました。



平田選手の快挙を祝う懸垂幕(右)

※ライフル3姿勢…小口径ライフルを用いて、片ひざを立てた状態で撃つ「しっ射」、うつ伏せになって撃つ「伏射」、立って撃つ「立射」の3姿勢で50m先の的を狙い、その合計得点で競う競技

金沢学院大学

「企業訪問ツアー」開催

市内企業の研究とキャリア形成の機会提供として、金沢学院大学生を対象に「#KnowMe 能美ツアー」金沢学院大学「能美の企業の魅力、発見ツアー」を開催しました。10月16日に経営情報学部の土屋雅一教授のゼミ生11人がテックワン(株)を訪問。同社で加工された繊維製品が身近な洋服やバッグ、傘などになっていることを学び、業務内容に理解を深めた後、生機に柄や色をつける染色の現場や、染め上がった生地には撥水性能を付与する整理加工の現場を見学しました。



ツアーでは年間を通じて湿潤な石川の自然環境が、繊維産業に適していることを学びました。

老人クラブ育成功労者知事表彰

老人クラブ育成功労者知事表彰を受けた能美市老人クラブ連合会会長の田中悠紀夫さん(大成町)が11月1日、市役所で井出市長に喜びを報告しました。

田中さんは能美市老人クラブ連合会の理事や副会長などを歴任し、現在に至るまで、各行事に積極的に参加し、



老人クラブ活動の運営にご尽力されています。

アジアエージグループ選手権 杉本さんが飛び込みで3冠の快挙

インドのバンガロールで第10回アジアエージグループ選手権が行われ、飛び込みのグループC(12歳・13歳)で杉本琉音さん(寺井中学校1年、小杉町)が、3種目で金メダルを獲得しました。

杉本さんは1m板飛び込みで274.64点、3m板飛び込みで



左から、樋口まゆみコーチ、杉本琉音さん、杉本さんのお母さん

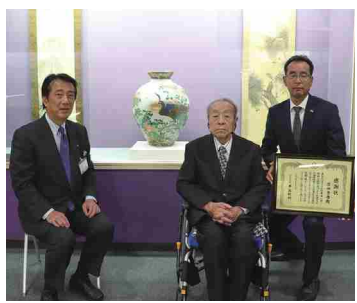
九谷焼作品を寄贈 廣田豊春さんへ感謝状授与

10月29日、廣田豊春さん(五間堂町)から九谷焼の作品をご寄附いただき、感謝状の贈呈式が行われました。

廣田さんは、近代九谷の名工笠間竹雪の外孫にあたり、今回、竹雪没後85年を記念して竹雪作「色絵孔雀図大

花生」をご寄附いただきました。

寄附いただいた作品は、九谷焼資料館の特別企画展「没後85年記念近代九谷の名工笠間竹雪絵画展」で展示されています。特別企画展は令和2年1月13日まで開催されています。



廣田豊春さん(中央)と息子孝司さん(右)

石川県文化功労賞受賞

石川県文化功労賞を受賞した石川友之さん(大成町)が11月13日、市役所で井出市長に喜びを報告しました。

石川さんは旧根上町時代から、文化財専門員を務められ、合併後は市文化財保護審議会の委員長を歴任し、現在に至るまで長年にわたり郷土史の研究や文



文化調査などに携わり、市の文化財の保存・継承にご尽力されています。

応募総数882点 第4回九谷ぬり絵コンテスト

11月9日、九谷焼資料館で九谷ぬり絵コンテストの表彰式を行いました。第4回となる今回も、日本全国、そして海外からも多数の作品の応募があり、応募総数は882点となりました。応募された作品は、色鉛筆や絵の具、マジック、パソコンなどで彩色した個性豊かなライ



ンナップとなりました。グランプリに輝いた杉山かのかさん(神奈川県)は、賞状と副賞の九谷焼が手渡されました。各部門受賞作品を含め、応募された作品は、12月25日まで同館1階ロビーギャラリー(閲覧無料)で展示されます。



▶グランプリを受賞した杉山かのかさんの作品
杉山さんは第2回九谷ぬり絵コンテスト子ども部門でも受賞しており、2年間で研鑽を積み、今回、晴れてグランプリを受賞されました。

北陸先端大、日本総研と連携し、DXで 能美市の農業・農村の課題解決目指し協業

を目指し協業する内容の覚書を締結しました。

11月12日には、北陸先端大が主催する産学官金交流イベント「マッチングハブ金沢」が開催されているANAクラウンプラザホテル金沢で記者会見を行いました。記者会見には、井出市長、北陸先端大・浅野学長、日本総研創発戦略センター・井熊所長が出席しました。



能美市はこのたび、北陸先端科学技術大学院大学および日本総合研究所と連携し、能美市における農業・農村の課題解決

北陸先端大が持つ知識科学分野での知見や産学官金連携コーディネート

力、日本総研が提唱する「農村デジタルトランスフォーメーション(農村DX)」のコンセプトをいかし、これから検討を進めていきます。

デジタルトランスフォーメーション(DX)とは

デジタル技術を用いて、組織、ビジネスモデル、社会システム等の仕組みを変革し、あらたな価値を生み出すことです。

農村DXでは、「儲かる農業、儲かる農村ビジネス」「住みよい農村生活」の実現をめざし、取り組んでいきます。

pick up

スマート農業を知り、自動運転トラクターなどを見学

11月5日、能美市とJA等の協働により、スマート農業講習会を開催しました。

まずJA能美本店会議室で、農林水産省北陸農政局職員からスマート農業についての基本的なことや国の取り組みについて学びました。その後JA全農や民間農業機械メーカーの営農システムの紹介を受けました。

続いて、近くの圃場^{ほじょう}に場所を移し、民間農業機械メーカー2社によるスマート農業機械のデモ実演と展示を見学しました。参加した農業者やJA職員、行政職員たちは、自動運転トラクターや直進アシスト機能つき農業機械の説明を聞きながら、理解を深めました。

